

第 1 章 計画の基本的事項

- | | |
|--------------|---|
| 1 計画策定の背景 | 本県の環境の現状や環境政策の課題を幅広く的確に把握し、
長期的な視野に立って本県の環境施策の方向性を提示 |
| 2 計画の位置付け | 県の環境保全に関する基本的かつ総合的な計画 |
| 3 計画の期間 | おおむね 10 年後を展望した上で、R8～12 までの 5 か年間 |
| 4 計画の基本的な考え方 | 環境の現状等を踏まえた環境課題への適切な対応
気候変動及び資源循環に関する計画を統合 |

第 2 章 計画の目標

- | | |
|--------|--|
| 1 将来像 | 自然と共生し、脱炭素と資源循環による「持続可能な環境立県とちぎ」 |
| 2 基本目標 | <ul style="list-style-type: none"> ①カーボンニュートラル（脱炭素化）の推進と気候変動への適応を目指す「とちぎ」 ②サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行を推進する「とちぎ」 ③人と自然が共生し、ネイチャーポジティブ（自然再興）の推進を目指す「とちぎ」 |
| | ○共通的・基盤的施策 |

第 3 章 施策の展開

- | | |
|---|----------------|
| 1 施策体系 | |
| 2 各種施策項目について | 第 3 回気候変動部会で議論 |
| 第 1 節 カーボンニュートラル（脱炭素化）の推進と気候変動への適応を目指す「とちぎ」 | |
| 1 2050 年カーボンニュートラル実現に向けた緩和策の推進 | |
| 2 県民の生命と財産を守り、将来の成長につなげる適応策の推進 | |
| 第 2 節 サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行を推進する「とちぎ」 | |
| 1 7 R の促進 | |
| 2 資源循環推進体制の確保 | |
| 3 廃棄物等の適正処理の促進 | |
| 第 3 節 人と自然が共生し、ネイチャーポジティブ（自然再興）の推進を目指す「とちぎ」 | |
| 1 生態系の保全 | |
| 2 自然環境の適正な利活用・環境整備 | |
| 3 里地里山の保全、環境を支える森林・緑づくり活動の推進 | |
| 第 4 節 共通的・基盤的施策 | |
| 1 地域環境の保全 | |
| 2 化学物質・放射性物質に係る取組の推進 | |
| 3 レジリエンス強化に資するエネルギー産業の振興 | |
| 4 持続可能な地域づくり | |

第 4 章 重点的な取組

第 5 章 計画の推進